

あるある

—身近なエピソードから学ぶ—

おや がく

あおもり親楽プログラム

プログラム

プログラム
1

お散歩もどう？

エピソード

あるある

ある日曜日の午後。お父さんとユウト君は近所のスーパーでの買い物を終えて家に帰るところです。

お父さん「ユウト、帰るぞー。」

ユウト「お父さん、ぼくも持ちたい！」

お父さん「買い物したのを持ちたいのか？重いぞー。腕がもげちゃうぞー！」

ユウト「持ちたい！持ちたい！大丈夫だよ。ぼく、力持ちだから！」

お父さん「そうか？なら、お父さん、助かるなあ～。じゃあ、箱ティッシュを持ってもらおうかな。」

ユウト「やったあ～。持ってあげるね！ぼく、力持ち～！」

～ しばらくたって ～

ユウト「ねえ、お父さん。何で今日は歩きなの？」

お父さん「ダイエットだよ！お父さんも腹を引っ込めたい！ガッハハッ！

な～んて、歩いて買い物に行くのって初めてかな？」

ユウト「うん。いつも車でブーンって行くよね。あ、お父さんあれ何？」

お父さん「あれは、モンシロチョウかな。」

ユウト「そうなんだ。ねえ、これは何の花？見たこと無いよ。」

お父さん「綺麗な花だね。写真にとったから、おうち帰ったら調べてみようね。」

ユウト「うん。ここにお花咲いているの初めて知ったよ。」

お父さん「お父さんも知らなかったよ。いつも車だからわからなかったんだね。ところでユウト、疲れていないか？」

ユウト「ぼく大丈夫だよ。疲れてないよ。そうだ、お父さん、帰ったらサッカーしようよ。」



ワーク1 エピソードを読んで次のことについて話し合みましょう。

- (1) 子どもにお手伝いをさせる時に何か工夫していることはありますか。
- (2) 親子で何か一緒に運動をしていますか。また、工夫していることはありますか。

ワーク2 子どもとどのようにしてコミュニケーションをとっていますか。

ふりかえり どんなことに気づきましたか。

プログラム
2

「読み聞かせ」は美味しい！？

あるある

エピソード

日曜日のお昼前、家事を終えてちょっと休憩中のお母さん。そこに、娘のサクラが絵本を持ってやってきました。

サクラ 「お母さん、『ぐりとぐら』読んで〜。サクラ、この絵本好き〜。」

お母さん 「お母さんも昔読んだな〜。とても大好きな絵本なんだよ。今日はサクラと一緒に読もうかな〜。」

二人で楽しく読み終わると、

お母さん 「ぐりとぐらが作ったカステラ、おいしそうだったね。」

サクラ 「お母さん、ちょっと待ってて。サクラ、ホットケーキだったら作れるよ。」

そう言って、サクラはおままごとセットを持ってきました。

サクラ 「小麦粉を入れて、卵を割るね。牛乳も入れて焼きますよ。はい、お母さんどうぞ。」

お母さん 「ありがとう。おいしそうですね。では、いただきます。」

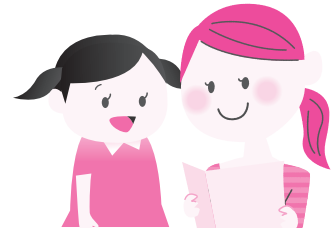
サクラ 「お母さん、おいしい？」

お母さん 「おいしいよ。なんだか本物のホットケーキを食べたくなっちゃった。お母さんと一緒に作らない？」

サクラ 「作ってみたい！」

お母さん 「じゃあ、作ろっか！サクラ、エプロンを着けてきて！」

サクラ 「はいー！」



<「ぐりとぐら」について>

お料理することと食べることが何より好きな野ねすみのぐりとぐらは、森で大きな卵を見つけました。目玉焼きにしようか卵焼きにしようか考えたすえ、カステラを作ることにしました。でも、卵があまり大きくて運べません。そこでフライパンをもってきて、その場で料理することにしました。カステラを焼くにおいにつられて、森じゅうの動物たちも集まってきます……。みんなの人気者ぐりとぐらは、この絵本で登場しました。 福音館書展 ぐりとぐら より (<http://www.fukuinkan.co.jp/book/?id=62>)

ワーク1 エピソードを読んで次のことについて話し合みましょう。

- (1) どのような絵本を読み聞かせをしたことがありますか。
- (2) 読み聞かせをした時に良かったこと、大変だったことは何ですか。
- (3) 読み聞かせをする時に、何かルールはありますか。

ふりかえり どんなことに気づきましたか。

プログラム
3

パパが夢中！？

あるある
エピソード

今日は公民館で開催される親子体験型のイベントに来たソウタ君一家。お母さんはアロマ講座へ、お父さんはソウタ君と一緒に工作室へ。

ソウタ 「お父さん、今日は何作ってもいいの？」

お父さん 「そうだよ。ここにあるダンボールや木や新聞紙。何でもいいみたいだよ。」

ソウタ 「やったー。何作ろうかな？お父さんこっち、こっち。」

二人は大きなダンボールが置いている所に来ました。

ソウタ 「ぼく、これで秘密基地作るよ。お父さん、ここ持って。入口作るから。」

お父さんはソウタ君の言われるがまま、押さえたり、切ったり、色を塗ったりして一緒に秘密基地を作りました。

ソウタ 「お父さん。できたよ～。すごいでしょ。」

お父さん 「まだだよ。ソウタ、ここに窓あったらいいんじゃない？それにあの木を使って、イス作ろうよ。」

そう言って、ソウタ君よりお父さんが秘密基地作りに夢中になったのでした。

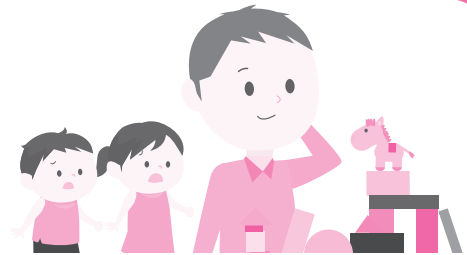
ソウタ 「お父さん。まだ～？」

お父さん 「まだだよ。ソウタ。もうちょっとで完成するぞ。」

お父さんはそう言って、秘密基地づくりを続けていました。すると、

ソウタ 「ぼく、もうやらない。あっちで遊ぶ。」

そう言って、友達数人と積み木で遊び始めました。



ワーク1 エピソードを読んで次のことについて話し合みましょう。
子どもとどうやって遊んでいますか。

ワーク2 親子での「遊び」という活動で、親としてできることは何ですか。

ふりかえり どんなことに気づきましたか。

プログラム
4

誰のためのルール？

あるある
エピソード

ある土曜の夜9時を過ぎた頃。
アオト「ねえ、パパ。そのスマホのゲーム、ぼくにもやらせてよ。」
パパ「さっき1回やっただろ。それに、アオトの寝る時間は9時だぞ。もう時間過ぎてるから、寝なさい。」
そこへ、お風呂上がりのママがきました。
アオト「ママ～。パパばかりするい。ぼくもゲームしたい。」
ママ「アオトもさっきしたんでしょ。それに、寝る時間は9時って約束でしょ。あなたもいつまでも遊んでいないで、アオトを寝かしつけてよ。」
パパ「わかったよ。アオト、これ1回やったら寝るぞ。」
アオト「うん。わかった。これ1回ね。」
パパ「あ～、うまくいかなかったな。アオト、もう1回やるか？」
アオト「うん。もう1回！」
ママ「パパ！アオト！※」
ママの冷たい視線に、パパもアオトも凍り付いたのでした。



ワーク1 エピソードを読んで次のことについて話し合みましょう。
アオト、パパ、ママのそれぞれの気持ちを考えてみましょう。

ワーク2 家庭で「スクリーンタイムに関するルールを作る」時に気をつけていることはありますか。

※スクリーンタイム・・・テレビ、スマホ、タブレット、携帯ゲーム機等画面を見ている時間の総称

ふりかえり どんなことに気づきましたか。

プログラム
5

生活リズムは「早起き」から

あるある
エピソード

天気の良い土曜日。今日は家族でスキー場へ。お母さんはカーテンを開け、いつもよりちょっと早く子ども達を起こしました。

お母さん「さあ、起きて。スキー場がみんなを待ってるわよ。」

リク「まだ眠いよ〜。」メイ「お母さん、まぶしいよ〜。」

お母さん「はいはい。とにかく起きて。顔洗って、着替えて。まずは行く準備よ。その間にお母さん、朝ご飯作るからね。お父さんは、もう車に荷物載せているんだから。」

リク、メイ「は〜い。」

しっかりと朝ご飯を食べて出発。スキー場でめいっぱい遊んだ子ども達。いつもより早い夕食を終え、子ども達はだいぶ疲れている様子。

お母さん「今日はいっぱい遊んで疲れたでしょ。いつもより早いけど、もう寝ましょうね。」

リク、メイ「はーい。お父さん、お母さん、お休み〜。」

お母さんが二人を寝かしつけて戻って来ました。

お母さん「二人とも、布団に入ったら、すぐ寝ちゃったわよ。いっぱい遊んで、疲れたのね。」

お父さん「オレも疲れたけど、いつもよりゆっくりできていいね〜。いつもこうだと助かるんだけど。」

お母さん「そうね！」

次の日の朝。ぐっすり眠った子ども達は、元気いっぱいに自分たちだけで起きてきました。そして、

リク、メイ「お母さん、お腹すいた〜。ご飯まだ〜。」



ワーク1 エピソードを読んで次のことについて話し合みましょう。

(1) 早寝や早起きをするために工夫していることはありますか。

(2) 家族の朝ご飯で、気をつけていることはありますか。

ワーク2 1日の生活リズムを整える上で、何か工夫していることはありますか。

ふりかえり どんなことに気づきましたか。